

○ 第1部 地域まちづくりについて

1 ごみ減量と資源化の推進について

【市からの状況説明】

- ・ 24品目の分別を行っている。
- ・ 令和7年度末までに、はだのクリーンセンター1施設での焼却体制へ移行する。
- ・ 現在、伊勢原工場の必要経費として、毎年2億円の修繕費がかかっている。
- ・ 現在の秦野市ごみ処理基本計画の初年度にあたる平成29年度の可燃ごみ量の実績は約39,000トンであり、5,400トンの減量が必要だった。
- ・ 令和2年度の可燃ごみ量の実績は、約34,400トンで、平成29年度と比べ約4,600トン減少した。令和7年度末の減量目標まで、残りあと800トンと、計画値を大幅に上回る減量が進んでおり、今年度は、昨年度より300トン減量している。
- ・ ごみの減量については、大きく分けて4つの柱がある。生ごみの減量、分別の徹底、草木類の資源化、事業系ごみの減量である。
- ・ 可燃ごみの4割は生ごみで、その80%が水分である。
- ・ 家庭用生ごみ処理機購入補助金の補助率を上げている。
- ・ 生ごみを持ち寄り、堆肥化し、作物を育てる「生ごみ持ち寄り農園事業」を市内2箇所で行い、農園利用者が肥料として活用している。
- ・ 平成29年度10月からレシートやアルミコーティングされた紙を、その他紙として資源化の品目に追加し、紙袋に入れて出せるようにしている。
- ・ スマホでごみの分別等が確認できるごみ分別アプリ「さんあ〜る」の配信も開始した。
- ・ 市内14箇所にストックハウスを設置し、資源物が身近に出せるような環境整備を行っている。西地区においては、旧公民館後跡地にストックハウスを新設するが、今年度中に設置工事が終わり、3月から御利用いただける。(※懇談会后、工事状況により、「1月」⇒「3月」に変更)
- ・ 草木類の資源化については、平成30年6月から本町、北、東地区で分別収集を開始し、平成31年4月から市内全域で開始した。
- ・ 事業系ごみについては、令和2年度から、市内全事業所、約3,200事業所を対象とした訪問調査を進め、ごみの資源化や適正排出の指導を強化し、ごみの減量に取り組んでいる。
- ・ 今後は、国の動向を踏まえ製品プラスチックの資源化を検討していく。
- ・ 行政としては、子どもへの教育を含めて、市民の皆様に御理解をいただき、ごみの減量と資源化に取り組んでいく。

環境産業部長

【質問・要望・意見等】	
<p>(意見・質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分別は順調に進んでいるのかなと感じた。しっかり分別に取り組んでいる方はしっかり取り組んでいる。広報だけでは十分進まないと思う。各家庭の中で、子どもへの環境やごみの分別についての家庭教育が重要であると思う。また、市内には大学もあるので、学生と共にSDGsと連携して進めるといいのではないか。</li> <li>・ プラスチックに係る資源循環の促進について、市で考えている内容やスケジュールを教えてください。</li> </ul>	堀川中自治会
<p>(市回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アパートにおけるごみの分別が徹底されていないという御意見が多いことが各地域ともに共通しているため、毎年1回、管理会社等を対象に説明会を開催し、住民への分別カレンダーの配付をお願いしている。具体的にお困りな場所等があれば、環境資源対策課へ御連絡ください。</li> <li>・ 子どもに学んでいただくと、さらに各家庭で子どもから親へ広がることから、本市では、小学校4年生を対象に環境教育を実施している。市職員が学校に行く「出前講座」で授業を行ったり、クリーンセンターを見学することで、実際にどのようにごみが処理されるのか、学習している。今後も、クリーンセンターと連携して、ごみについての子どもへの教育に取り組んでいく。</li> <li>・ 大根地区では、大根川の河川清掃を有志で実施している。</li> <li>・ 本市では、現在、資源化のため包装容器プラスチックの分別をお願いしているが、今年6月に、プラスチック資源循環促進法が成立し、来年に施行され、今月、国がパブリックコメントを実施した。この法の中には、市町村として取り組むべきこととして、分別あるいは資源化の体制や施設の整備等が明記されているため、国の動向を踏まえ、情報収集しながら取り組んでいく。</li> </ul>	環境産業部長
<p>(意見・質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 秦野市のごみの減量については、計画に比べると、かなり進んでいるのかと思う。全体ではどうなのか。</li> <li>・ ごみの分別のマナーはいいのか。</li> </ul>	学校前自治会館
<p>(市回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伊勢原市よりも秦野市のほうがより進んでいると思う。</li> <li>・ ごみの分別は、全体的には徹底されており、マナーは守られていると考えている。</li> </ul>	環境産業部長

(要望)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アパートの住民のマナーが悪い。ごみが残ったままの場合、電話して回収に来てもらうが、自分たちがずっと見張っている訳にもいかない。ごみステーションが道路に面しているため、車からごみを投げ捨てられることもある。知らない業者が来て捨てていくこともある。定期的に、業者へ注意していると言うが、業者を呼んで、強く警告していただきたい。</li> </ul>	曲松12自治会
(市回答)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成29年度からアパートの大家への説明会等を実施し、約8割が出席している。ごみの出し方に改善が見られない場合は、監視カメラの設置等の対応を考えざるを得ない。</li> <li>・ 不法投棄は犯罪であるため、目撃した場合には、警察へ御連絡をお願いしたい。</li> </ul>	環境産業部長
(質問)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市道にごみステーションがあるところもあるが、どういう経緯で設置されたのか、市が管理しているのか。</li> </ul>	浜沢中第一自治会
(市回答)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市道に設置されている場合もあるが、個人の土地をお借りし、ごみステーションを設置することもある。基本的には、地域で決めていただき、市へ届出をしていただく。また、新築住宅のような開発行為による場合はその開発する土地の中に予め設置することもあるし、アパートの場合には、土地所有者の土地等に設置することもある。</li> </ul>	環境産業部長
(要望)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プラごみが日本中にあふれている。プラごみを減量するためにどうしたらいいか取り上げていただきたい。大半のものはプラスチックで包装されているため、あえて、プラスチックで包装されているものは買わないというのも必要ではないかと思う。量り売りしている店もあるので、みんなが、このような店を利用すると思う。ぜひ、プラごみの減量に取り組んでいただきたい。</li> </ul>	婦人会
(市回答)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業側にも、非常に興味を持っていただいているが、市民の皆様にも理解していただくために啓発していく。</li> </ul>	環境産業部長

2 市道の整備と通学路におけるグリーンベルト化について

【市からの状況説明】

1 「通学路のグリーンベルトの整備について」

・ 通学路の安全対策は、毎年、改善要望として提出された箇所について、道路管理者をはじめ、秦野警察署、学校関係者等の関係部署と合同点検を行って対策方法を決定している。

本日のテーマとして、市道17号線の渋沢駅方面三叉路(秋葉神社参道出口)から吉原橋までを先行してグリーンベルトを整備してほしいという要望だが、当初、市としては、要望箇所とは違う、幅員が狭いカーブが続く部分を先行して行うことを考えていたが、この路線で事故が発生している状況を考慮し、要望箇所を含め、県道708号との交差点部分まで、グリーンベルトの整備を行っていくことを考えている。



建設部長

【質問・要望・意見等】

(要望)

・ 秋葉神社参道出口から県道交差点までと渋沢駅方面三叉路から吉原橋までの両方を整備をするのか。

栃窪自治会

(市回答)

・ グルーンベルトの設置には、予算がかかるが、渋沢駅方面三叉路(秋葉神社参道出口)から県道708号交差点部まで工夫していきたいと考えている。

建設部長

(意見・質問)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 要望後の現地調査した際に、市は渋沢小学校、中学校へは相談していたようだが、要望した自分たちはその場に入っていないので、立会いすべきだったと思っている。立ち会っていれば、渋沢自治会館前付近は、子どもたちの利用がほとんどないため、吉原橋から渋沢駅方面三叉路から先に、グリーンベルトの整備をしてほしいと説明できた。</li> <li>・ 予算がかかるが、例えば、グリーンベルトの幅を、20センチ狭くする等すれば、通常よりも安く済むのではないかと考えるので、ぜひ、グリーンベルトの整備をお願いしたい。</li> </ul>	渋沢下自治会
(市回答)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後は、地域の声を聞きながら取り組んでいきたいと考える。</li> <li>・ 通学路の要望に対して、市でもプロジェクトチームを作り、警察と教育委員会と連携して取り組んでいる。歩道の設置のほか、グリーンベルトや注意喚起の看板設置等も行っている。今後も、安全対策に取り組んでいきたい。</li> <li>・ グルーンベルトの設置には、予算がかかるが、工夫して予定箇所を行っていききたいと考えている。</li> </ul>	建設部長
(意見・要望)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設部に問い合わせたところ、国の予算もあり、他もあるから難しいとの回答だった。相当前から要望しているが、渋沢小学校の子どもたちが通うのは、分かっているのだから、地元からの要望がなくても、整備していただきたい。周辺には、グリーンベルトやガードレールを付けないと、八街市の事故と同じことが起きる。事故が起きてからではなく、学校を創れば、子どもが通うのは分かっていることであり、積極的に対応いただきたい。</li> </ul>	栃窪自治会
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 非常に危険な箇所においては、庁内関係部署と連携し、様々な手法による対策を検討し、実施していききたいと考えている。</li> </ul>	建設部長

○ 第2部 市政全般について	
<p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光について、西には、頭高山があり、登山やハイキングで多くの方が訪れている。夏に、ヤマビル被害が発生し、行くと必ずヤマビル被害に遭うと言われている。ヤマビル対策として、注意喚起の看板が設置され、塩を持参するよう書いてあるが、そうではなく、ヤマビルが発生しないような解決方法があれば、教えていただきたい。</li> <li>・ 頭高山の先の松田町の方には、神山滝という15メートル程の滝がある。松田町と連携して、地域資源を有効活用すれば、もっと多くの方が訪れると思う。</li> </ul>	<p>渋沢中第一 自治会</p>
<p>(市回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「東の弘法山、西の頭高山」と言われるように、観光価値が高い山であると思っている。市は、現在、小田急線4駅のにぎわい取り組んでいるが、頭高山の魅力をアップしていきたいと考えている。そのために、ヤマビル対策はしっかり取り組まなければいけないと、常に念頭にあるが、なかなか鳥獣対策に有効な対策を見出すのが難しい状況にある。</li> <li>・ 頭高山を通り神山滝まで今も歩いて行けると思うが、散策路を整備したいと考えている。さらに松田町へ抜けることもできるし、矢倉沢往還の整備と併せて、松田町と連携して取り組んでいきたいと思っており、既に、現在、少しずつ取り組んでいる。</li> </ul>	<p>市長</p>
<p>(市回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 根本的な解決は、なかなかない。鳥獣被害対策には、主に、環境整備、防除、捕獲に取り組んでいる。基本的に、蹄のある動物が、ヤマビルを連れてくると言われている。シカは元々山に生息していたが、里山に手が入らなくなり、山と人里の境が分からなくなり、人が住む場所に段々近づいてきている。農業被害もあるため、農政部局で取り組んでいる。最近では、弘法山や頭高山のような低山を訪れる方も多いため、山に手をいれ、環境整備をする。令和3年度から4年度は、頭高山の木を切ることを計画している。現実には、ヤマビルには塩が効果があるので、環境を整備しつつ、被害に遭わないような防除と両輪で取り組んでいく。</li> </ul>	<p>環境産業部 長</p>
<p>(意見・要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神山滝へ行く道はあるが、細く狭いため、慣れていないとなかなか通れない。夏場にヒルが発生し、ヒル対策として、動物が入らないようにするよりも、頭数を減らす必要があると思う。イノシシやシカが電気柵を超え、庭まで入ってくるため、お手上げ状態である。</li> </ul>	<p>千村六自治 会</p>
<p>(市回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヤマビル対策については、荒廃農地対策に加え、忌避剤、防除、環境整備の取組を行っていく。西秦野猟友会とも連携して取り組んでいく。</li> </ul>	<p>環境産業部 長</p>

<p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鳥獣被害対策として、捕獲しているが、栃窪では、現在3名がわな猟ができる。わなをかけると、畑でイノシシがひっかかる。イノシシ、シカを駆除し、被害を食い止めないと、農業をやめようという農家も増えている。中学校給食の食材として捕獲した肉の活用について御協力をいただきたい。また、捕獲すれば肉が出てくるので、その活用については、JA、はだの都市支援センターと連携して取り組んでおり、御理解をお願いしたい。</li> </ul>	<p>栃窪自治会</p>
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>捕獲していただく人は必要ですので、資格を取っていただき、ぜひ、取り組んでいきたい。</li> </ul>	<p>環境産業部長</p>
<p>(市回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>12月1日の中学校給食のスタートに向けて、準備を進めている。中学生に地元食材を食べていただく、地産地消を目標にJAと連携しながら取り組む。今の地産地消率30%を5年後には50%を目標にしたいとJAとも話している。農産物をしっかり生産できるような環境を整備は必要であるため、鳥獣対策も大事であると考えている。なかなか効果が出るものでもないが、しっかり関係機関等と連携し、皆様からのお力添えもいただきたい。</li> </ul>	<p>市長</p>
<p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路舗装の打ち換えについて要望する。市道沼代新町9号線及び2号線は砂利交じりのコンクリート舗装で40年以上が経過しているため、コンクリートがはがれ道路上に散乱しており、車の走行時には、砂利がタイヤにより飛ばされる状況がある。飛ばされた砂利が近隣世帯のガラスを割ったり、通行人等に当たり怪我をすることが懸念される。部分的な陥没等は応急処置をしているが、抜本的な解決にはなっていないことから、打ち換えを強く要望する。このことを昨年6月に連絡先を市へ教えて要望しているが、3か月後の昨年9月になっても連絡がなく、同月に市を訪れたら、聞いていないなど言われた。要望しても1回も連絡がないのはどういうことか。</li> <li>早急に道路の改善とともに要望に対して何の連絡がなかったことから、市の体質改善を要望する。住民の安心・安全なまちづくりのため、是非、お願いしたい。</li> <li>(後日追加要望)よねやま公園の木の枝打ち及び公園灯の設置を要望する。沼代地区内のよねやま公園は、過去3年間に4回不審火があったが、4回とも警察に連絡し、警戒強化を依頼して大事には至っていない状況である。3回目の時は、藤棚下のテーブルに焦げ跡があり、本年3月にも同公園の南西角付近で木が燃えているのを近隣住民が発見し消火した。今後も近隣世帯に被害が及ぶことが懸念され、公園の木が大変大きくなっているため、木の枝打ち等を行い、見通しの良い状況にさせていただき、また、南西角付近は暗いので、公園灯の設置をお願いしたい。</li> </ul>	<p>沼代3自治会</p>
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路の打ち換え舗装について、改めて確認をし、連絡する。(後日、沼代3自治会長に連絡し、今後、市域全体を見ながら検討していく旨説明済。)</li> </ul>	<p>建設部長</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>同公園については、不審火が発生している状況にあるため、老木、大木化そして混在化等した樹木については、一部伐木、剪定を検討するとともに、公園内の暗がりの解消のため公園灯の設置についても、予算の確保に努める。</li> </ul>	<p>建設部 (公園課)</p>